

# 北海道秋の学び推進月間の取組

胆振教育局  
平成28年12月22日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

「北海道教育の日」（11月1日）から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

## ○ 壮瞥町立久保内小学校の取組

### 子どもたちの読書意欲を高める読書活動の取組

本校では、北海道教育委員会の「平成28年度読書活動充実事業」実践校の指定を受け、本の内容を分かりやすく紹介する「読書の木」の取組などを通じて子どもたちの読書意欲を高めています。「読書の木」の葉を書くごとに、子どもたちの文章を要約する力も向上するなど、大きな成果が見られてきています。また、10月27日から11月9日までの読書週間では、「POP広告」を作成し、読み手の心をつかむキャッチコピーや読んだ本のあらすじ、感想などを効果的に紹介しました。



【読書の木】

## ○ 北海道伊達緑丘高等学校の取組

### 「主体的・対話的で深い学び」をテーマとした研究授業の開催

本校では、今年度、文部科学省研究指定校事業（地理歴史科）において「科目間連携」を中心とした授業改善に取り組んでいます。11月25日に実施された教科指導講座では、道南から20名の先生が参加し、世界史Aの研究授業、「主体的・対話的で深い学び」を柱とした研究協議を行い、参加者から「生徒に主体的に考察させるためには「問い」が大事であることが分かった。」などの声が寄せられ、授業改善に向けた具体的な方策が検討され、大きな成果がみられました。



【研究授業の様子】

## ○ 北海道室蘭聾学校の取組

### 幼・小・中合同による「読書の集い」の開催

今年度で開校80周年を迎えた本校では、幼稚部、小学部、中学部の代表が、おすすめの本を全校の友達に紹介する「読書の集い」に取り組んでいます。11月2日に実施された集いでは、「本を多く借りた人ランキング」の表彰もあり、1位の生徒は133冊も借りていました。この取組は、読書の楽しさや大切さを伝えるとともに、子どもたちの学習意欲の向上のために、大きな成果を上げています。



【読書の集いの様子】

## 「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道苫小牧南高等学校1年 篠田 桃花 さん  
「咲かせよう 学びの種から 夢の花」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 室蘭市立みなと小学校6年 森谷 柁一郎 さん  
「読書から はじまる学びの ストーリー」

苫小牧市立美園小学校5年 小林 桜 さん  
「勉強は、 未来の扉、 開くカギ」

白老町立竹浦小学校5年 田口 翔月 さん

「勉強は 未来へ続く 架け橋だ」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。